

# 令和7年度 第1回 石岡市公共交通政策会議 次第

日 時 令和7年7月30日(水) 午前10時

場 所 石岡消防本部 3階会議室

## 1 開 会

## 2 会長挨拶

## 3 議 事

- ・石岡市地域公共交通計画に係る各事業について
- ・その他

## 4 閉 会

---

### 【配布資料】

- ・次第
- ・委員名簿
- ・資料1 石岡市地域公共交通計画に係る各事業について
- ・資料2 地域公共交通計画施策進捗管理表
- ・資料3 石岡市地域公共交通計画に係る各事業の進捗状況について

## 石岡市地域公共交通計画に基づく各事業について

当市において、持続可能な公共交通体系の再構築に向け、「地域公共交通計画」に位置付けた以下の基本方針に基づき、各事業を実施しております。

今後も、継続して各事業を実施してまいります。

### 【基本方針 1】多角連携型のコンパクトな都市づくりを支える公共交通

基本方針	施策	事業
1. 多核連携型のコンパクトな都市づくりを支える公共交通	1-1 広域交通の機能強化	鉄道の利便性向上
		高速バスの維持・充実
	1-2 幹線交通の機能維持	柿岡市街地を結ぶバス路線の機能維持
		南台・東石岡周辺及び茨城空港を結ぶBRT路線のサービス維持
	1-3 補助交通の機能維持・充実	乗合いタクシーの見直し
		廃止代替路線の見直し
		次世代交通システムの推進
	1-4 交通結節点の整備	利用環境整備の推進
		交通結節点における乗継利用時の優遇措置の継続

### 【基本方針 2】地域の多様な移動ニーズを柔軟に支える公共交通

2. 地域の多様な移動ニーズを柔軟に支える公共交通	2-1 バリアフリー化の推進	バリアフリー対応車両の導入促進
		交通バリアフリー教室の開催
	2-2 運行情報提供の充実	バスロケーションシステムの導入
	2-3 周知・広報活動の実施	HP、広報等での周知・広報活動
	2-4 モビリティ・マネジメントの実施	モビリティ・マネジメントの実施
	2-5 通勤・通学者への支援制度	各種の定期券購入補助制度

### 【基本方針 3】まちづくり・観光振興等の地域戦略に寄与する公共交通

3. まちづくり・観光振興等の地域戦略に寄与する公共交通	3-1 他分野と連携した利用促進	福祉・交通安全分野と連携した利用促進策
		商業・観光分野と連携した利用促進策
	3-2 広域連携の推進	市外病院への通院ニーズに対応するための近隣自治体等との協議
		観光産業を支える公共交通の利用促進
	3-3 新たな交通技術・サービスの導入検討	新たな交通技術・サービスに関する情報収集、導入可能性の検討

地域公共交通計画の施策の進捗状況

資料2

基本方針	施 策	事 業		実施主体			計画年度・進捗状況						特記事項	備考	
				市	国、県	交通事業者		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
1. 多核連携型のコンパクトな都市づくりを支える公共交通 (93～100ページ)	1－1 広域交通の機能強化	鉄道の利便性向上	利便性向上に向けた要望活動	○			計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	茨城県常磐線整備促進期成同盟会等の団体の合同によりJR水戸支社に対して要望活動を実施していきます。(通勤・通学時間帯における運転本数の増発等)	P4～P5	
			パークアンドライド用駐車場の維持・充実による鉄道利用促進	○			計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	市営駐車場(一般154台、定期118台 計272台)において、駐車関連機器の保守点検や除草等の日常管理を実施していきます。	P3	
			高浜駅周辺整備事業の推進	○		○	計画 進捗	実施 検討	実施 検討	実施	実施	実施	R4、R5に実施した高浜駅周辺のまちづくり検討調査結果をもとに、関係部局と今後の整備方針について検討していきます。	P5	
		高速バスの維持・充実		○		○	計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	バス事業者3社による高速バスの運行維持を図っていきます。 無料駐車場において、定期的に利用状況や目的外駐車車の調査を実施していきます。	P6	
							計画 進捗	実施 実施	実施 実施						
	1－2 幹線交通の機能維持	柿岡市街地を結ぶバス路線の機能維持		○		○	計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	関東鉄道(株)によるバス路線(林線)の運行維持を図っていきます。 利用状況等に応じ、今後の運用について協議を進めていきます。	P7	
		南台・東石岡周辺及び茨城空港を結ぶB R T 路線のサービス維持		○		○	計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	関東鉄道(株)によるバス路線(BRT)の運行維持を図っていきます。 イベント等を通し利用促進を図っていくとともに、利用状況等に応じ、今後の運用について協議を進めていきます。	P8	
	計画 進捗						実施 実施	実施 実施							
	1－3 補助交通の機能維持・充実	乗合いタクシーの見直し		○		○ (社協)	計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	R6年度に行ったAI運行システムの変更により、利便性の向上が図られているため、引き続き、社会福祉協議会とともにサービスの充実を図っていきます。	P9～P11	
		廃止代替路線の見直し		○		○	計画 進捗	実施 検討	実施 検討	実施	実施	実施	板敷山～羽鳥駅間のバス運行について、利用が低迷していることから、代替手段等を検討していきます。	P12～P14	
		次世代交通システムの推進		○			計画 進捗	実施 実施	実施 検討	実施	実施	実施	これまでの実証実績等を踏まえながら、実証運行の効果検討を行ったうえで、本格運行の必要性について関係部局と検討して行く予定です。	P15～P17	
	1－4 交通結節点の整備	利用環境整備の推進	利用環境整備の推進	○		○	計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	石岡駅バスターミナルにバスシェルター、ベンチ、バス待合所等の整備が完了しており、適切な維持管理等を実施していきます。また、あんしんステーションの整備に合わせ、駐輪場を設置したので、適切な維持管理を実施していきます。	P18	
			交通結節点における乗継利用時の優遇措置の継続	○		○ (社協)	計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	乗合いタクシーから路線バスに乗換えた際に合計500円で利用できる割引制度を実施していきます。	P19	
2. 地域の多様な移動ニーズを柔軟に支える公共交通 (101～105ページ)	2－1 バリアフリー化の推進	バリアフリー対応車両の導入促進	バリアフリー対応車両の導入促進	○		○	計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	石岡営業所管内の路線バス全てにバリアフリー対応のノンステップバス又はワンステップバスを導入し運行しています。	P20	
			交通バリアフリー教室の開催	○	○	○	計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	車いすや高齢者疑似体験セットを使用しバス車両への乗降やその介助を体験してもらうため、市内小学校にてバリアフリー教室を実施しています。	P20～P21	
			計画 進捗	実施 実施	実施 実施										
	2－2 運行情報提供の充実	バスロケーションシステムの導入		○		○	計画 進捗	検討 実施	実施 実施	実施	実施	実施	路線バス、乗合いタクシーともにロケーションシステムを導入し、利便性の向上を図っています。	P21	
	2－3 周知・広報活動の実施	H P、広報等での周知・広報活動		○		○	計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	市HPに高速バス、路線バス、乗合いタクシー等の情報を掲載しており、継続的に見やすいページ作成に取り組んでいます。R7は公共交通マップを作成し、全戸配布を予定をしています。	P22	
							計画 進捗	実施 実施	実施 実施						
	2－4 モビリティ・マネジメントの実施	モビリティ・マネジメントの実施		○	○	○	計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	まちづくり出前講座等による各種事業の案内をしています。 新高校生等に対するバスお試し乗車券付きリーフレット配布します。	P23	
							計画 進捗	実施 実施	実施 実施						
	2－5 通勤・通学者への支援制度	各種の定期券購入補助制度	通勤者特急券購入費補助制度、通学者定期券特急券購入費補助制度	○			計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	都内へ通勤・通学をする方を対象に定期券及び特急券補助を補助しています。	P24～P25	
			遠距離児童、生徒通学費の保護者に対する補助金交付制度	○			計画 進捗	実施 実施	実施 実施	実施	実施	実施	市内小中学校に通う児童・生徒に対し、遠距離通学補助金を交付しています。	P25～P26	
計画 進捗			実施 実施	実施 実施											
3. まちづくり・観光振興等の地域戦略に寄与する公共交通 (106～109ページ)	3－1 他分野と連携した利用促進	福祉・交通安全分野と連携した利用促進策	高齢者の運転免許証返納に対する公共交通機関利用の優遇制度の導入	○			計画 進捗	検討 検討	検討 実施・検討	実施	実施	実施	高齢者の交通安全に関しては、70歳以上を対象に、自家用車への後付け踏み間違い防止装置整備費補助金を実施しています。免許返納者への優遇制度については関係部局と検討を進めていきます。	P27	
			石岡プラチナ応援券での乗車券購入制度の周知	○		○ (社協)	計画 進捗	検討 実施	検討 実施	実施	実施	実施	「乗合いタクシー利用のしおり」や市窓口での配布、市及び社会福祉協議会HPに掲載するなど、制度についての周知を行っています。	P30	
		商業・観光分野と連携した利用促進策	中心市街地の店舗とコラボしたイベントの検討	○			計画 進捗	検討 実施	検討 実施	実施	実施	実施	石岡駅隣接の石岡ステーションパークにて、中心市街地の商店街が主催する「いしおか市場」等の開催支援を実施していきます。	P31	
			観光巡回車“石岡・やさと観光周遊バス”等の周知・案内	○		○	計画 進捗	検討 実施	検討 実施	実施	実施	実施	石岡市内の観光スポットを巡る周遊バスの運行を行っています。石岡市観光協会のHPに情報を掲載し、周知・案内を実施していきます。	P31	
			観光イベント時の公共交通の利用促進	○		○	計画 進捗	検討 実施	検討 実施	実施	実施	実施	石岡のおまつりや、ふれあいまつり等イベント実施の際にバス臨時便を運行し、チラシやHPにて利用促進の内容を掲載していきます。	P32	
			計画 進捗	実施 実施	実施 実施										
		3－2 広域連携の推進	市外病院への通院ニーズに対応するための近隣自治体等との協議		○			計画 進捗	検討 検討	検討 検討	検討	実施	実施	現時点で公共交通利用による市外病院への通院要望は少数であることから、引き続き利用状況を注視していきます。	P33
			観光産業を支える公共交通の利用促進		○			計画 進捗	検討 検討	検討 検討	検討	実施	実施	既存公共交通や新たな公共交通サービスによる観光周遊ルートの確立にむけ、担当課と協議を進めていきます。	P33
	3－3 新たな交通技術・サービスの導入検討	新たな交通技術・サービスに関する情報収集、導入可能性の検討		○		○	計画 進捗	検討 検討	検討 検討	検討	検討	検討	他自治体でライドシェアや自動運転バス等の取組みが始まっているため、調査研究を実施していきます。	P33	
							計画 進捗	検討 検討	検討 検討						

## 1-1 広域交通の機能強化について

## ◆鉄道の利便性向上

## 1 鉄道の利用状況について

《JR 石岡駅の利用者人数の推移》

※JR 東日本 HP より

(単位：人)

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
定期外	1,838	1,762	811	984	1,330	1,606
定期利用	3,829	3,828	3,164	3,191	3,233	3,319
計	5,667	5,590	3,975	4,175	4,563	4,925

《JR 高浜駅の利用者人数の推移》

※JR 東日本 HP より

(単位：人)

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
定期外	330	314	150	180	233	274
定期利用	825	804	586	623	650	619
計	1,155	1,118	736	803	883	893

駅の利用者数については、新型コロナウイルスの影響で利用者数が減少したが、近年、石岡駅、高浜駅ともに回復傾向にある状況です。

## 2 市営駅東駐車場の利用状況について

区分	項目	R3	R4	R5	R6
一般駐車	台数	16,524台 (1日平均45台)	28,712台 (1日平均79台)	35,938台 (1日平均98台)	39,761台 (1日平均109台)
	使用料	9,337,800円	16,467,430円	21,039,900円	22,541,360円
定期駐車	台数	728台	734台	748台	790台
	使用料	6,572,500円	6,809,000円	7,155,500円	7,650,500円
合計	台数	17,252台	29,446台	36,686台	40,551台
	使用料	15,910,300円	23,276,430円	28,195,400円	30,191,860円

《市営駅東駐車場 概要》

面積：6,900 m<sup>2</sup> 駐車台数：272台（一般 154台、定期 118台）

市営駐車場についても駅の利用者数と同様に、新型コロナウイルスの影響で利用者数が減少したが、回復傾向にある状況です。



### 3 令和6年度 事業報告

#### ○利便性向上に向けた要望活動の実施

##### 《要望活動等の実績》

団体名	要望日	要望先	要望内容
茨城県常磐線整備促進期成同盟会	R6. 7. 26	JR 東日本 水戸支社	・中距離列車の通勤、通学時の本数増発
茨城県県南常磐線輸送力増強期成同盟会			・特急列車の停車本数の増便 ・下り土浦止まり列車の水戸駅以北への延伸 ・石岡のお祭り時の特急列車運行本数増便
常磐線東海道線乗り入れ推進協議会			・全普通列車の東海道線乗り入れの実現 ・品川駅より先への更なる延伸

※茨城県常磐線整備促進期成同盟会・・・茨城県、常磐線沿線の16市3町1村の首長と議長で構成。JRへの要望活動や利用促進活動等を実施。（会長：茨城県知事）

※茨城県県南常磐線輸送力増強期成同盟会・・・土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、かすみがうら市、阿見町の首長で構成。JRへの要望活動や利用促進活動等を実施。（会長：土浦市長）

※常磐線東海道線乗り入れ推進協議会・・・土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、かすみがうら市、阿見町の6市1町、商工会議所、青年会議所、商店街連合会で構成。（会長：土浦市商工会会長）

#### ○パークアンドライド用駐車場の維持・充実による鉄道利用促進

- ・継続して市営駐車場の適切な運営、維持管理の実施。



写真：市営駅東駐車場



写真：市営駅東駐車場 入口

#### 4 令和7年度 事業実施計画

##### ○利便性向上に向けた要望活動の実施

団体名	要望日	要望先	要望内容
茨城県常磐線整備促進期成同盟会	R7.7月 (予定)	JR 東日本 水戸支社	・中距離列車の通勤、通学時の本数増発
茨城県県南常磐線輸送力増強期成同盟会			・特急列車の停車本数の増便 ・下り土浦止まり列車の水戸駅以北への延伸 ・石岡のお祭り時の特急列車運行本数増便
常磐線東海道線乗り入れ推進協議会			・全普通列車の東海道線乗り入れの実現 ・品川駅より先への更なる延伸

##### ○パークアンドライド用駐車場の維持・充実による鉄道利用促進

- ・引き続き市営駐車場の適切な運営、維持管理の実施をしていきます。
- ・施設老朽化による施設設備等更新の検討を行っていきます。

##### ○高浜駅周辺整備事業の推進

- ・令和4年度、令和5年度に実施をした調査結果をもとに、今後の整備方針について検討を行っていますが、財源の確保や整備上の課題が多いことから、令和7年度においては、ワーキングチームを立ち上げるなど関係部局と協議を進めながら、事業の推進にむけて取り組んでいきます。



写真：JR高浜駅

## ◆高速バスの維持・充実

### 1 令和6年度 事業報告

- ・バス事業者3社により、高速バスの運行維持が図られています。

(R6運行本数：平日41本、休日70本)

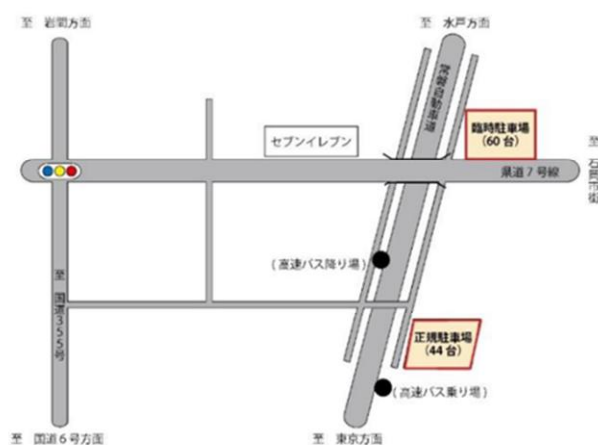
《高速バス(石岡停留所)の利用者人数の推移》 ※バス事業者提供資料より (単位：人)

高速バス路線		令和4年度	令和5年度	令和6年度
みと号 赤塚ルート	乗車	8,944	9,703	9,023
	降車	10,124	10,693	10,181
みと号 県庁ルート	乗車	2,208	2,575	2,586
	降車	3,294	4,430	4,477
羽田空港線	乗車	454	653	532
	降車	217	314	359
合計	乗車	11,606	12,931	12,141
	降車	13,635	15,437	15,017

※みと号は関東鉄道、茨城交通、JRバス関東各社の合計の数字になります。

- ・高速バス利用者むけの無料駐車場については、定期的に利用状況や目的外駐車の調査を実施しています。

### 《高速バス利用者むけ駐車場 概要》



正規駐車場 44台  
臨時駐車場 60台



### 2 令和7年度 事業実施計画

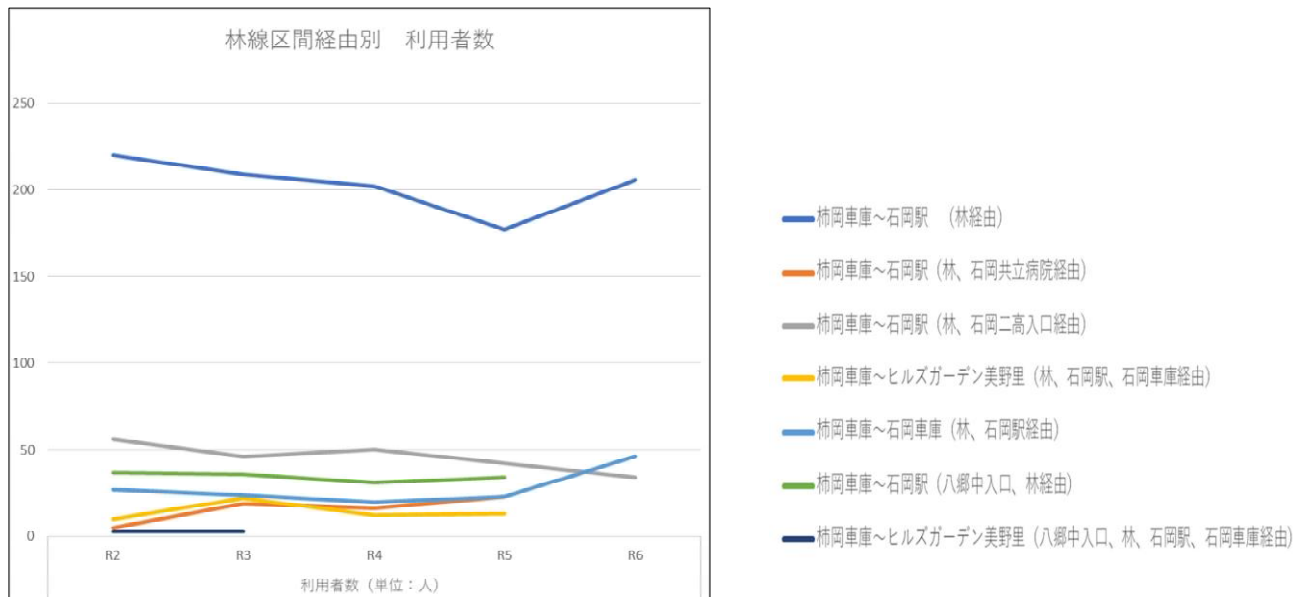
- ・引き続きバス事業者による高速バスの運行維持を図っていきます。
- ・高速バス利用者むけの無料駐車場について、継続して利用状況や目的外駐車調査を実施していきます。

## 1-2 幹線交通の機能維持について

### ◆ 柿岡市街地を結ぶバス路線の機能維持

#### 1 林線、小幡線の利用状況について（1日あたりの利用人数）

路線名	区間	経由地	利用者数（単位：人）				
			R2	R3	R4	R5	R6
林線	柿岡車庫～石岡駅	林	220	209	202	177	206
	柿岡車庫～石岡駅	林、石岡共立病院	5	19	16	23	
	柿岡車庫～石岡駅	林、石岡二高入口	56	46	50	42	34
	柿岡車庫～ヒルズガーデン美野里	林、石岡駅、石岡車庫	10	22	12	13	
	柿岡車庫～石岡車庫	林、石岡駅	27	24	20	23	46
	柿岡車庫～石岡駅	八郷中入口、林	37	36	31	34	
	柿岡車庫～ヒルズガーデン美野里	八郷中入口、林、石岡駅、石岡車庫	3	3			
	合計		358	359	331	312	286
小幡線	柿岡車庫～石岡駅	細内	7	13	5	12	
	合計		7	13	5	12	



#### 2 現在の運行本数について

- ・運行本数（平日） 往復41便 （令和7年3月現在）
- ・本線については、柿岡市街地と石岡市街地を結ぶ主要な公共交通としての役割を担っているが、利用者の減少により、廃線となる区間も生じてきている状況です。

#### 3 令和7年度 事業実施計画

- ・引き続き利用の促進を図っていくとともに、運行事業者と今後の運用について、協議を進めていきます。



◆南台・東石岡周辺及び茨城空港を結ぶ BRT 路線のサービス維持

1 かしてつバスの利用状況について（1日あたりの利用人数）

区間	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
かしてつバス (うち空港連絡バス)	760 人/日 (19 人/日)	933 人/日 (33 人/日)	855 人/日 (39 人/日)	960 人/日 (56 人/日)	1028 人/日 (52 人/日)

2 現在の運行本数について

- ・運行本数（平日） 往復 7 3 便 （令和 7 年 3 月現在）

3 令和 6 年度事業報告

- ・沿線自治会との協働によるイベント（南台駅クリスマス点灯式）を実施し、利用促進を図りました。

4 令和 7 年度 事業実施計画

- ・引き続き沿線自治会との協働によるイベントの実施や、石岡駅周辺で実施されるイベント時の案内等により、利用促進を図っていきます。

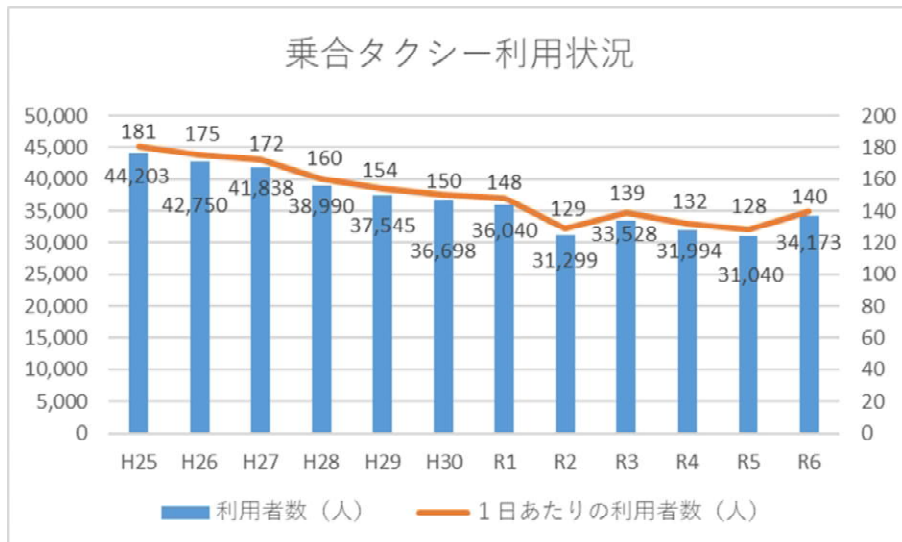
### 1-3 補助交通の機能維持・充実について

#### ◆市内公共交通の状況について【乗合タクシー】

##### 1 乗合タクシーの概要について

- (1) 事業主体 石岡市社会福祉協議会
- (2) 事業目的 交通不便地域の解消、高齢者等の移動制約者の移動手段の確保
- (3) 運行概要
- ① 利用対象者 石岡市民
  - ② 運行区域 石岡市内全域
  - ③ 運行事業者 京成タクシー茨城株式会社、有限会社ムツミ観光自動車
  - ④ 運行時間帯・台数 平日 8 時 15 分～18 時 00 分（土日祝日、年末年始運休）  
10 人乗り 7 台、15 人乗り 2 台 計 9 台
  - ⑤ 運賃
    - 《石岡市地区内・八郷地区内での利用》
    - 大人 300 円・小学生・障がい者手帳所持者及びその介助人 100 円
    - 《石岡市地区内と八郷地区内の地区間移動での利用》
    - 大人 500 円・小学生・障がい者手帳所持者及びその介助人 200 円

##### 2 年間利用者数について（単位：人）



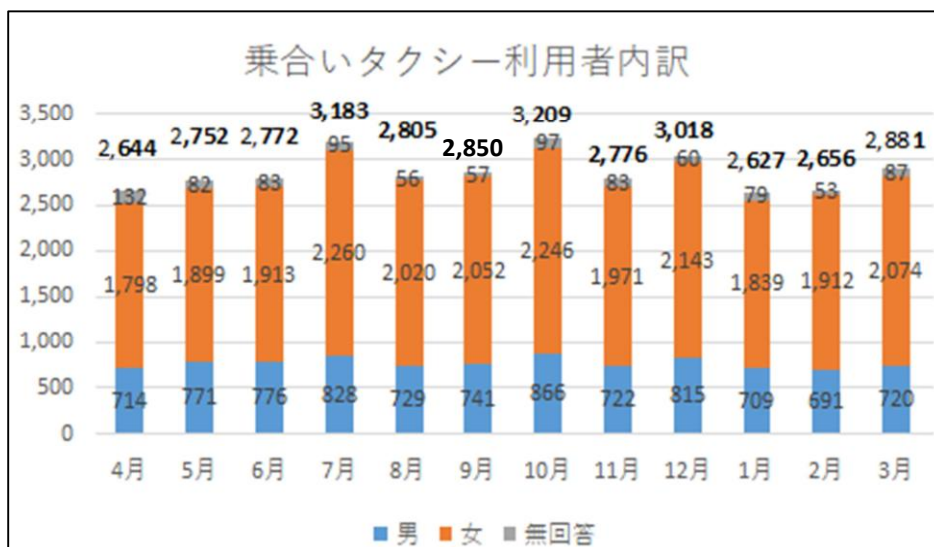
##### 3 収支状況について

	R 1	R2	R3	R 4	R 5	R6
運行経費	65,216	66,228	66,984	72,377	71,292	78,915
運賃収入	7,981	6,668	7,378	7,186	7,238	8,398
市助成金	57,236	59,559	59,606	65,191	64,054	70,517

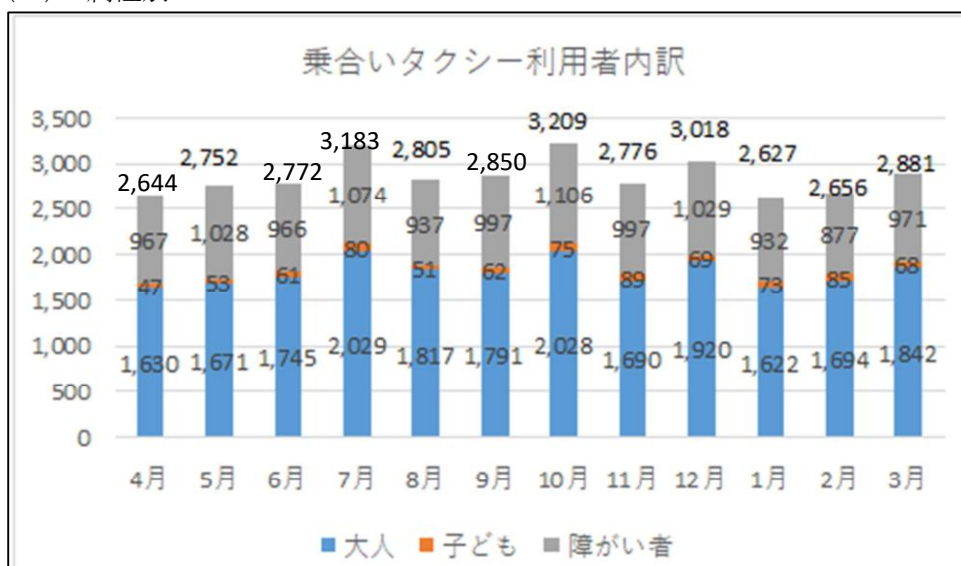
単位：円

#### 4 令和6年度利用状況（単位：人）

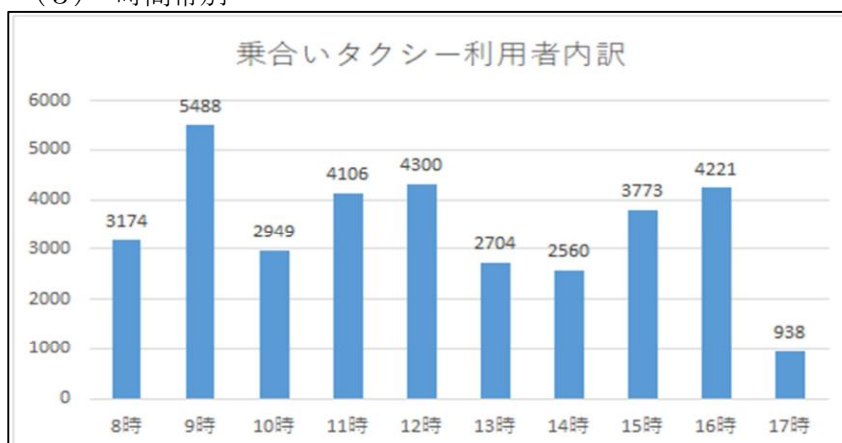
##### (1) 性別別



##### (2) 属性別

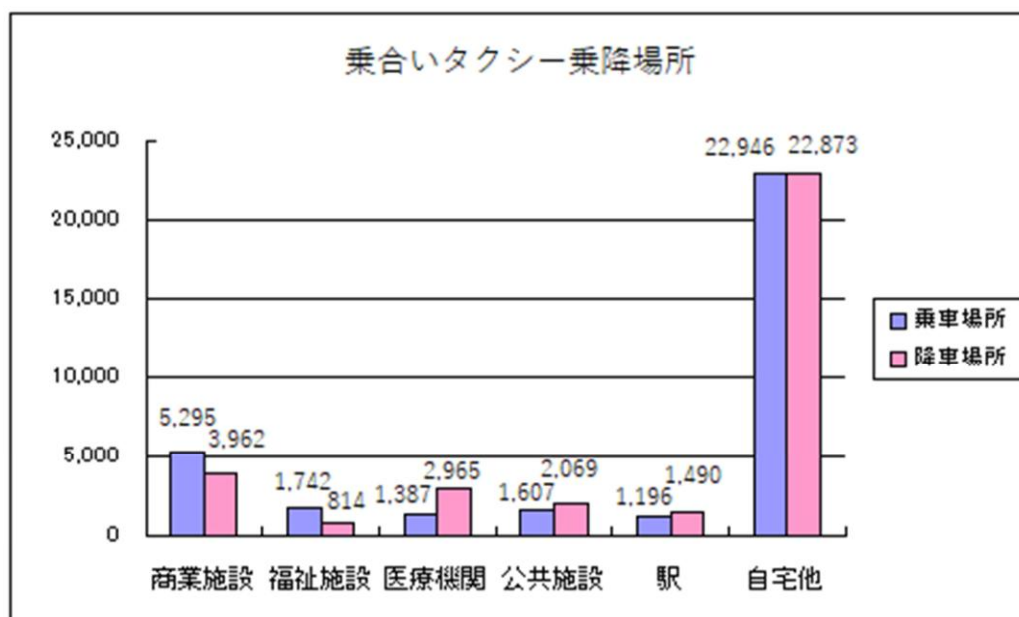


##### (3) 時間帯別



## 5 主な乗降場所（令和6年度）

### （1）ジャンル別



### （2）ジャンル別（上位5位）

順位	商業施設	福祉施設
1	カスミ フードスクエア ピアシティ石岡中央店	銀の笛
2	ヨークベニマル 東大橋店	ケアハウスハートピア石岡
3	スーパータイヨー 石岡店	介護老人保健施設ゆうゆう
4	ヨークベニマル八郷店	あいホーム石岡南台
5	カスミ八郷店	あいホーム東光台

順位	医療機関	公共施設	駅
1	石岡第一病院	ひまわりの館	石岡駅西口
2	山王台病院	石岡市役所八郷総合支所	羽鳥駅
3	石岡循環器科脳神経外科病院	石岡市役所本庁舎	石岡駅東口
4	滝田整形外科	府中地区公民館	神立駅
5	山王台眼科・透析クリニック	やさと温泉ゆりの郷	高浜駅

## 6 令和7年度 実施事業計画

・令和6年度に行ったA Iシステムの変更により、利便性の向上を図ったところ、利用者数が増加していますので、引き続き事業主体である石岡市社会福祉協議会とともに、サービスの充実を図っていきます。

### 1-3 補助交通の機能維持・充実について（その2）

#### ◆市内公共交通の状況について【代替バス（板敷山羽鳥線）】

##### 1 代替バスの概要について

（1）路線バス

（2）運行目的 地域住民の利便性向上、大增地区～恋瀬小学校間の交通手段の確保

（3）運行概要（R7.4.1現在）

① 運行経路 板敷山～羽鳥駅（距離 16.7km）

② 運行本数 平日：6往復12便 休日：6往復12便

③ 運行時間 平日（羽鳥方面）：始発6：40 最終17：55

平日（恋瀬方面）：始発7：23 最終18：50

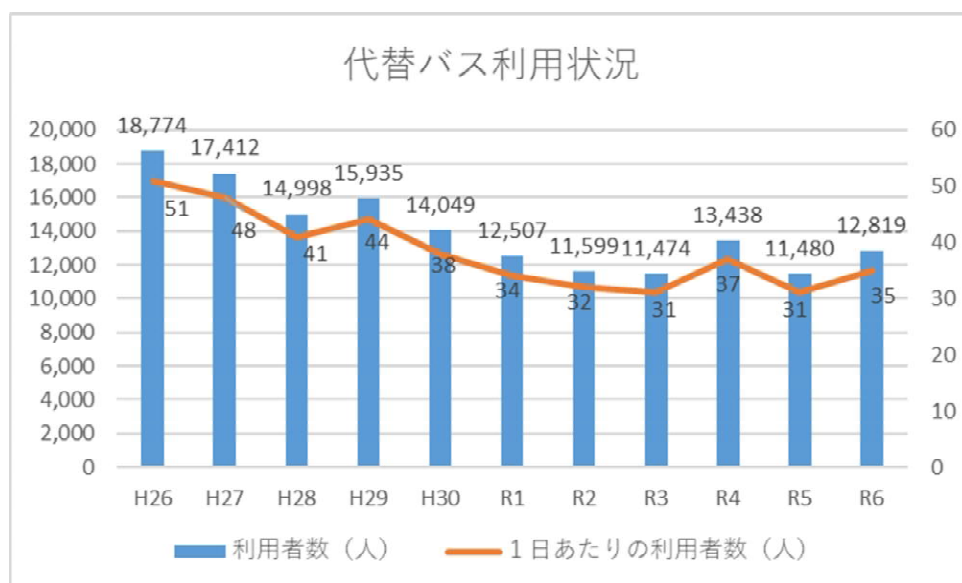
土日（羽鳥方面）：始発7：55 最終17：55

土日（恋瀬方面）：始発9：05 最終18：50

④ 運行事業者 関東鉄道株式会社

⑤ 運賃 170円～530円

##### 2 年間利用者数（単位：人）



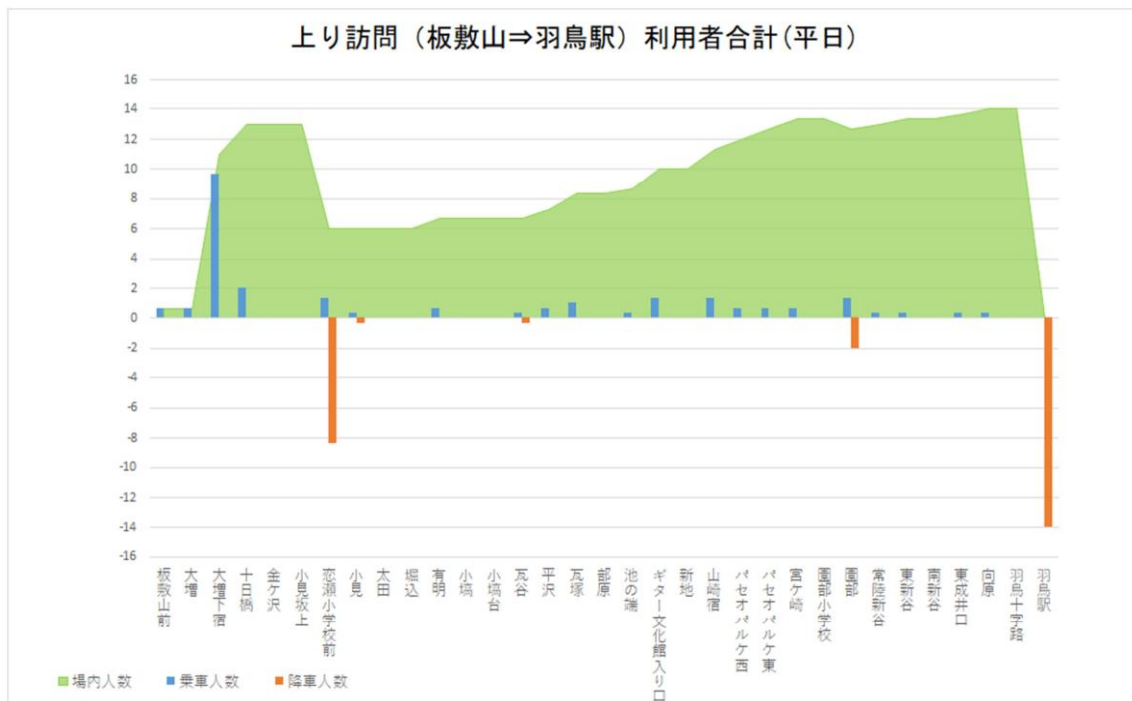
##### 3 収支状況（単位：千円）

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
運行経費	13,286	14,446	14,320	15,951	15,373	17,003
運賃収入	3,204	2,987	3,030	3,286	3,350	3,500
市助成金	10,082	11,459	11,569	12,665	12,023	13,503

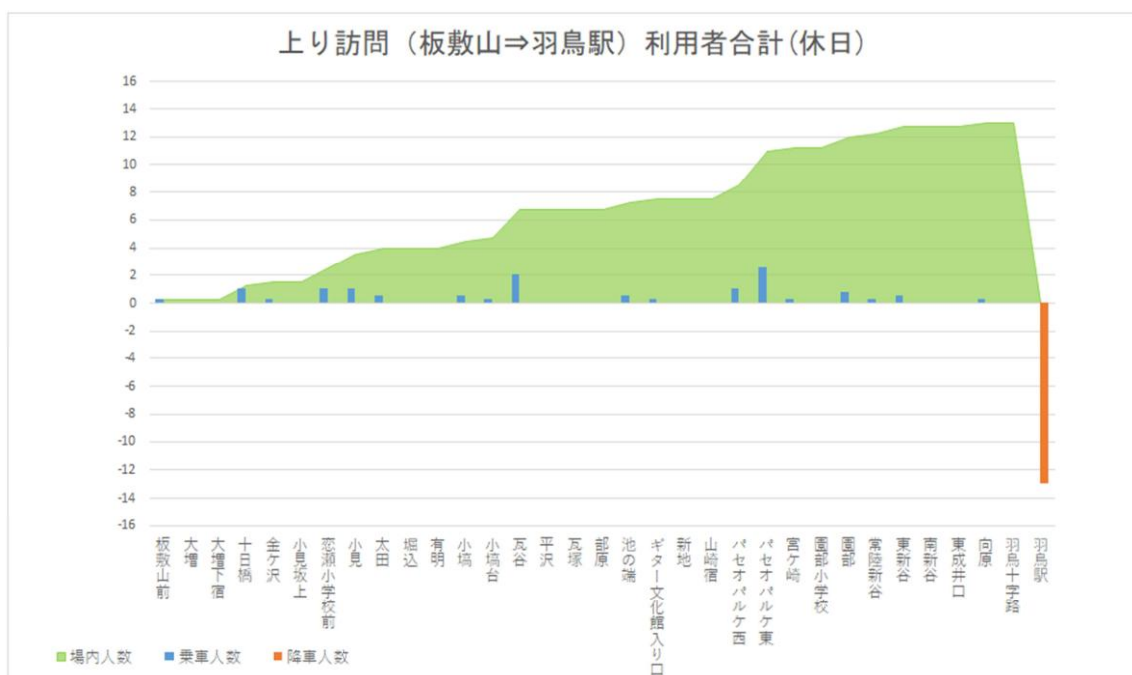


#### 4 利用状況（令和4年から令和6年調査の平均値）

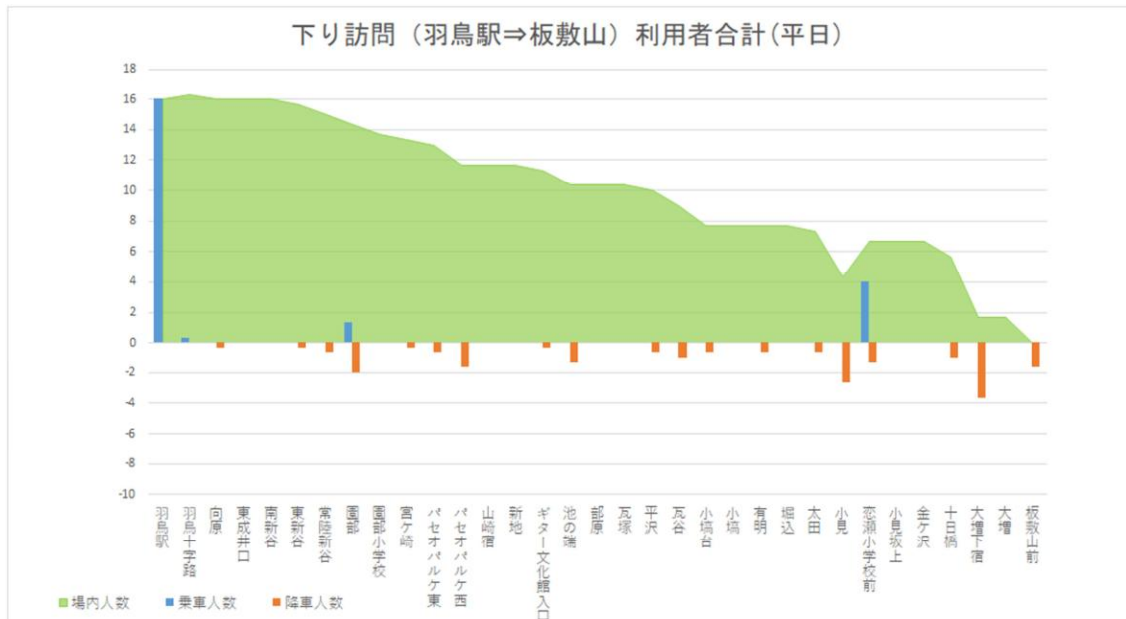
##### 1) バス停別乗降状況（平日、上り方面） ※1日あたりの利用人数



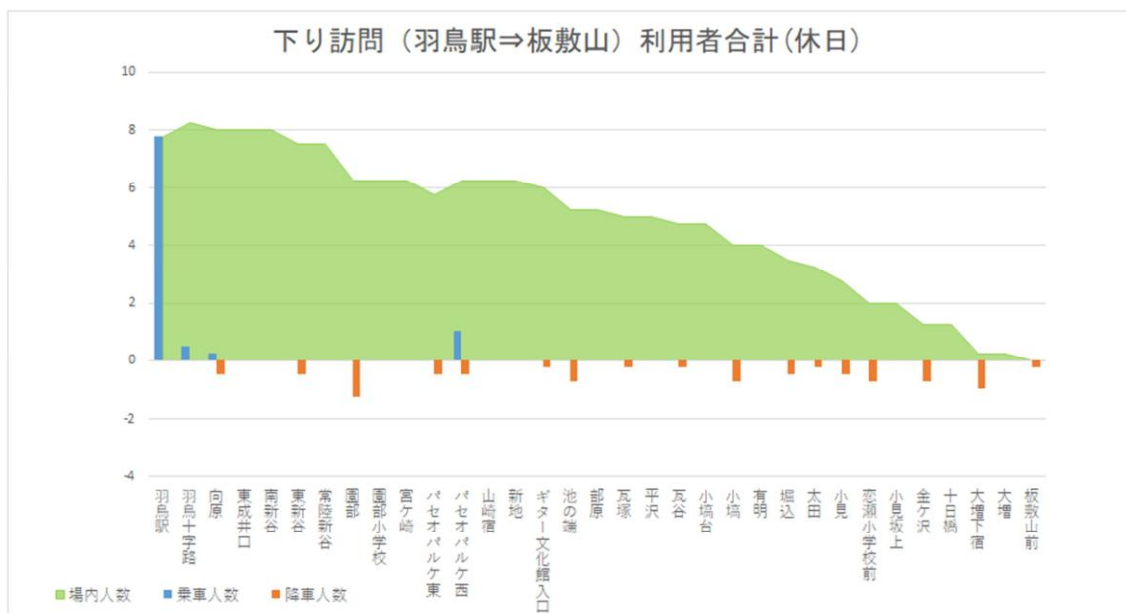
##### 2) バス停別乗降状況（休日、上り方面） ※1日あたりの利用人数



3) バス停別乗降状況（平日、下り方面） ※1日あたりの利用人数



4) バス停別乗降状況（休日、下り方面） ※1日あたりの利用人数



5 令和7年度 事業実施計画

- ・上記利用状況のとおり、利用者数の低迷や利用者のいないバス停もあることから、今後の運行の在り方について、バス事業者と協議を進めていきます。

### 1-3 補助交通の機能維持・充実について（その3）

#### ◆次世代交通システムの推進

##### 1 グリーンスローモビリティとは

時速 20km 未満で公道を走行できる電動車両を活用した移動サービス。交通手段の確保と環境問題を同時に進める施策の通称であり、排気ガスを出さない小型電動車両の導入により、移動手段の提供と環境への配慮を同時に行うことを目的としています。



写真：令和6年度運行時の様子

##### 2 過去の実証実験の結果

###### (1) 令和4年度

対象地区：石岡駅西口地区 車 両：4人乗り車両  
期 間：令和4年10月6日（木）～12月22日（木） 78日間  
利用者数：1,787人（1日平均22.9人 1便平均1.0人）  
運行経路：発着地点 石岡駅西口 経由地点 タイヨー  
運行時間：期間中毎日運行、9時～16時10分で運行 ※運休 途中2日  
約15分に1本の間隔で運行（午前12便、午後12便、計24便）

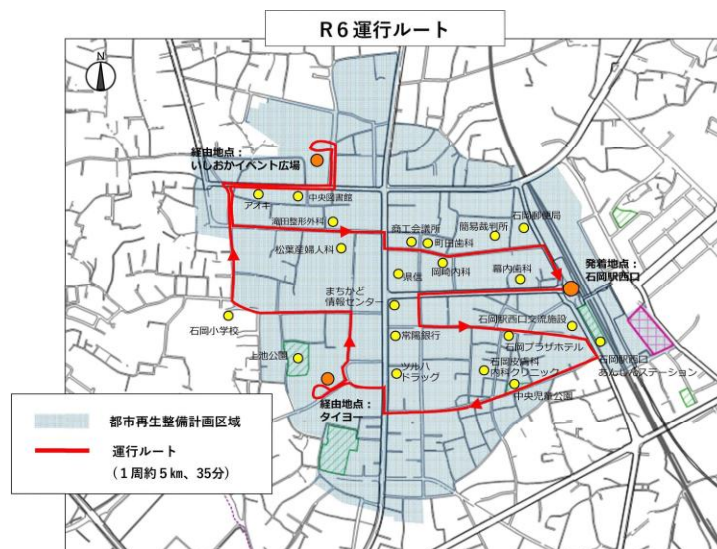
###### (2) 令和5年度

対象地区：柿岡市街地 車 両：4人乗り車両  
期 間：令和5年10月2日（月）～11月30日（木）58日間  
利用者数：553人（1日平均9.5人、1便平均0.5人）  
運行経路：発着地点 八郷総合支所 経由地点 セイコーマート石岡柿岡店  
運行時間：期間中毎日運行、9時～16時10分で運行 ※運休 全日2日、途中4日  
約20分に1本の間隔で運行（午前9便、午後9便、計18便）

##### 3 令和6年度の実証実験について

###### (1) 令和6年度の結果

対象地区：石岡駅西口地区  
車 両：10人乗り車両  
期間：令和6年10月1日（火）  
～令和6年12月10日（火）  
（71日間）  
利用者数：1,018人  
（1日平均14.3人、  
1便平均1.8人）



運行経路：発着地点 石岡駅西口 経由地点 タイヨー、いしおかイベント広場

※令和6年度より新たにいしおかイベント広場を追加

運行時間：期間中毎日運行、 9時～15時50分で運行 ※運休 途中2日

約45分に1本の間隔で運行（午前4便、午後4便、計8便）

午 前				午 後			
石岡駅西口	タイヨー	いしおかイベント広場	石岡駅西口	石岡駅西口	タイヨー	いしおかイベント広場	石岡駅西口
出発	経由	経由	到着	出発	経由	経由	到着
9:00	9:15	9:25	9:35	13:00	13:15	13:25	13:35
9:45	10:00	10:10	10:20	13:45	14:00	14:10	14:20
10:30	10:45	10:55	11:05	14:30	14:45	14:55	15:05
11:15	11:30	11:40	11:50	15:15	15:30	15:40	15:50

4 令和6年度の利用者数

(1) エリア別



【乗車】 (単位：人)			
月	エリア別乗車数		合計
	①	②	
10月	270	211	481
11月	220	179	399
12月	82	56	138
合計	572	446	1,018

【降車】 (単位：人)			
月	エリア別降車数		合計
	①	②	
10月	222	259	481
11月	167	232	399
12月	72	66	138
合計	461	557	1,018

(2) 時間帯別

<午前> (単位：人)

出発時刻	乗車数			合計
	10月	11月	12月	
9:00	49	26	3	78
9:45	72	51	13	136
10:30	74	68	26	168
11:15	57	51	9	117
午前合計				499

<午後> (単位：人)

出発時刻	乗車数			合計
	10月	11月	12月	
13:00	44	34	20	98
13:45	57	67	22	146
14:30	52	40	16	108
15:15	76	62	29	167
午後合計				519

利用者数合計	1,018人
--------	--------

## 5 令和7年度 事業実施計画

これまでの実証実績等を踏まえ、運行時期や運行地区などの条件の比較検討を行う必要があることから、効果検証を行ったうえで、本格運行の必要性について関係部局と検討を実施していく予定です。



## 1-4 交通結節点の整備について

### ◆利用環境整備の推進

#### 1 整備状況について

- ・石岡駅バスターミナルに隣接する場所に、待合所を設置し、バス利用者の利便性の向上を図っています。
- ・石岡駅西口、ステーションパーク隣接地に「あんしんステーション」を整備し、令和6年4月から共用開始されました。整備に合わせ、1階部分に駐輪所を設置し、駅利用者の利便性の向上を図っています。



写真：バスターミナル待合所



写真：あんしんステーション



写真：あんしんステーション  
駐輪場



写真：あんしんステーション  
駐輪場

◆交通結節点における乗継利用時の優遇措置の継続

○交通結節点における乗継利用時の負担軽減のため、各運行事業者において割引制度等の優遇措置の実施をしていますので、引き続き、割引制度の活用を推進していきます。

## 2-1 バリアフリー化の推進について

### ◆ バリアフリー対応車両の導入促進

高齢者や障がい者、妊産婦、乳幼児を同伴する方等に配慮し、人にやさしい交通サービスを提供するために、一般路線バスのバリアフリー化を図っていきます。

現在、石岡市を走行する一般路線バスの全車両がノンステップバス・ワンステップバスとなっております。



バリアフリー対応車両の様子

### ◆ 交通バリアフリー教室の開催

#### 1 概要

関東運輸局茨城運輸支局との共催により、「交通バリアフリー教室」を開催します。本教室では、小学生が実際の路線バス（ノンステップバス）を使用し、車いすでの乗降体験や高齢者の疑似体験を行うことで、交通バリアフリーの重要性のほか、当事者や介助者の気持ちとなって考え、協力していく「こころのバリアフリー」を学ぶことを目的としています。

#### 2 令和6年度 事業報告

日時：令和6年12月13日（金） 午後1時45分～午後3時20分

会場：石岡市立小幡小学校（石岡市小幡4080番地）

内容：ノンステップバスを使用した車いす体験・高齢者疑似体験

対象：石岡市立小幡小学校 4年生17名 5年生14名 計31名

協力：公益社団法人茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵里氏（講師）

一般社団法人茨城県バス協会・関東鉄道株式会社





令和6年度に実施したバリアフリー教室開催時の様子

### 3 令和7年度 事業実施計画

市内の小学校において、児童を対象に「交通バリアフリー教室」の開催を予定しております。

時期：10月ごろ 開催場所：市内小学校（2校程度）

## 2-2 運行情報提供の充実について

### ◆バスロケーションシステムの導入

○路線バスや乗合タクシーにロケーションシステムを導入し、リアルタイムで利用者が位置情報を把握できるようになり、利便性が向上しています。今後も引続き利用者の利便性向上に向け取り組んでいきます。



引用：関東鉄道 HP より

## 2-3 周知・広報活動の実施について

### ◆HP、広報紙等での周知・広報活動

#### 1 令和6年度 事業報告

市HPに高速バス、路線バス、乗合いタクシー等の情報を掲載し、利用者が分かりやすいページ作成に取り組み、公共交通の利用促進を図りました。

#### 2 令和7年度 事業実施計画

##### ○石岡市公共交通マップの作成

##### (1) 作成目的

令和5年度策定の「石岡市地域公共交通計画」に基づき、公共交通の利用促進を図るため、誰もが容易に公共交通を利用できるよう、多様な交通機関の運行内容を網羅的に整理した「公共交通マップ」を作成するものです。

##### (2) 掲載内容

市内公共交通機関（JR常磐線、高速バス、路線バス、乗合いタクシー、個人タクシー等）の運行区域が一目で分かるような地図のほか、バス乗り場の案内や運行事業者の情報等を併せて掲載する予定です。

また、必要に応じて、モビリティマネジメント（バスの乗り方、公共交通利用のメリット等）の内容を掲載する予定です。

##### (3) 仕様（予定）

規格：B2サイズ 蛇腹折り＋2つ折り

色数：フルカラー両面刷り 数量：30,000部

##### (4) 周知方法

市内全戸配布、市内転入者配布、公共施設や駅等への備付け

市HPにも同様の内容を掲載

地図アプリケーション等を活用しマップデータを配信

※全戸配布については、令和8年3月を予定しています。



他自治体公共交通マップ  
※HPより引用



## 2-4 モビリティ・マネジメントの実施について

### ◆モビリティ・マネジメントの実施

#### 1 対象者：地域の小学生や高齢者

○バス事業者と協力して「バスの乗方教室」を実施

#### 2 対象者：地域住民や企業従業員の方

○公共交通利用についての「まちづくり出前講座」の実施

##### (1) 令和6年度 事業報告

令和6年8月に石岡市川又地区にて、乗合いタクシーの乗方講座を実施

##### (2) 令和7年度 事業実施計画

令和7年度においても、例年同様に依頼があった地区において講座を実施し、公共交通の利用促進を図ります。

#### 3 対象者：中学校3年生

○新高校生に対するリーフレット及びバスお試し乗車券配布（R5～R7）

→茨城県にて実施。令和7年度は、7月に市内中学校5校の中学校3年生を対象に565部を配布しています。

## 2-5 通勤・通学者への支援制度について

### ◆各種定期券購入補助制度

#### 1 「通勤者特急券購入費補助制度」「通学者定期券特急券購入費補助制度」

##### (1) 事業概要（事業所管課：人口創出課）

通勤・通学しやすい環境づくりにより、転出抑制と本市への移住促進を図るため、通学定期券及び特急券を利用して通勤・通学する方に対して、その購入費用の一部を補助しています。

##### (2) 補助金の実績

区分	項目	R3	R4	R5	R6
通学者 (定期券)	交付件数	251 件	294 件	306 件	325 件
	補助金交付金額	5,231,700 円	7,337,200 円	8,070,900 円	8,629,500 円
通学者 (特急券)	交付件数	27 件	38 件	42 件	46 件
	補助金交付金額	1,452,000 円	2,766,000 円	2,157,000 円	2,744,000 円
通勤者 (特急券)	交付件数	12 件	23 件	41 件	57 件
	補助金交付金額	1,264,000 円	2,162,000 円	3,287,000 円	4,748,000 円
合計	交付件数	290 件	355 件	389 件	389 件
	補助金交付金額	7,947,700 円	12,265,200 円	13,514,900 円	16,121,500 円

新型コロナウイルスの影響を受け、電車の利用者の減少、テレワークの増加等の要因により、件数が減った時期もありましたが、近年、回復傾向にあり、補助金の利用者数についても増加がみられています。

#### 【参考資料】

##### ①令和6年度申請者の状況（通学地）※定期券のみ

	人数	割合
茨城県	88	27.1
うち、水戸以北	79	89.8
東京都	151	46.5
千葉県	72	22.2
埼玉県	12	3.7
神奈川県	2	0.6
計	325	100

②令和6年度申請者の状況（通勤地）

	人数	割合
東京都	53	93
千葉県	2	3.5
神奈川県	2	3.5
計	57	100

(3) 令和7年度事業計画

令和7年度においても、同様に補助制度を実施し、鉄道の利用を促進していくとともに、通勤・通学者への支援を行っていきます。

【R7予算額】

○通勤者特急券購入補助金 4,000,000 円

○通学者定期券特急券購入補助金 11,000,000 円

2 遠距離児童、生徒通学費の保護者に対する補助金交付制度

(1) 事業概要（事業所管課：教育総務課）

義務教育の円滑な運営に資することを目的として、通学距離が小学校にあっては4キロメートル以上、中学校にあっては6キロメートル以上で、バス通学児童生徒を有する保護者に対して、通学費の一部を補助しています。

(2) 補助金の実績

	R4		R5		R6	
	対象者数	補助額	対象者数	補助額	対象者数	補助額
4～7月	40名	161,700円	31名	131,700円	95名	776,260円
8～12月	36名	157,700円	25名	105,900円	95名	828,100円
1～3月	32名	110,100円	26名	93,900円	81名	459,680円
合計	429,500円		331,500円		2,064,040円	

《学校別》

	小学校	中学校
R4	東小学校、三村小学校、柿岡小学校、恋瀬小学校	—
R5	東小学校、三村小学校、柿岡小学校、恋瀬小学校	—
R6	府中小学校、東小学校、恋瀬小学校	石岡中学校、八郷中学校

(3) 令和7年度事業計画

令和7年度においても、同様に補助制度を実施し、バス通学児童生徒を有する保護者に対して支援を行っていきます。

【R7予算額】

○小学校費補助金	754,000 円
○中学校費補助金	4,440,000 円

### 3-1 他分野と連携した利用促進について

#### ◆福祉・交通安全分野と連携した利用促進策

##### 1 高齢者の運転免許証返納に対する公共交通機関利用の優遇制度の導入

- ・運転免許返納者についての優遇制度について、近隣自治体の事例を参考に令和7年度においても、担当部局と連携し検討を実施していきます。

#### ○踏み間違い防止装置整備費補助金補助制度

##### (1) 事業概要（事業所管課：コミュニティ推進課）

市内に居住する高齢者に対する安全運転意識の向上、交通事故の防止及び事故時の被害軽減に資するため、踏み間違い防止装置整備に要する費用の一部を予算の範囲内で補助するもの。

##### (2) 補助金の実績

区分	項目	R 3	R 4	R5	R6
障害物検知機能あり	件数	11件	2件	2件	2件
	金額	241,300円	50,000円	50,000円	50,000円
障害物検知機能なし	件数	9件	5件	5件	3件
	金額	93,500円	75,000円	74,900円	45,000円
合計	件数	20件	7件	7件	5件
	金額	334,800円	125,000円	124,900円	95,000円

##### (3) 令和7年度 事業実施計画

令和7年度においても、例年同様に補助制度を実施し、高齢者の事故防止に努めていきます。

##### 【令和7年度 予算額】

踏み間違い防止装置整備費補助金 600,000 円

#### ○妊産婦タクシー利用補助金

##### (1) 事業概要（事業所管課：子育て応援課）

妊産婦健康診査、出産及び産科受診のために医療機関へタクシーで通院した際の料金の一部を補助するもの。

##### (2) 補助金の実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
交付件数	9件	4件	8件
補助金交付金額	94,490 円	81,470 円	158,800 円



**【補助金上限額】**

タクシー乗車 1 回につき 10,000 円（1 回の妊娠につき 4 回利用可能）

**（3）令和 7 年度 事業実施計画**

令和 7 年度においても、例年同様に補助制度を実施し、妊産婦の補助を行います。

**【令和 7 年度 予算額】**

妊産婦タクシー利用補助金      250,000 円

○買い物支援実証事業

(1) 事業概要（事業所管課：高齢福祉課）

- ・移動手段がなく生活必需品の購入が困難である市民の利便性を向上させ、公共交通を補完することを目的として、(株)カスミとの包括連携協定中の取り組みの一環として、買い物不便地域において移動販売車による対面販売を実施。

(2) 事業実績（令和6年度）

事業期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日 365日間 ※土日を除く

販売時間：午前10時～午後4時頃まで（1箇所あたりの販売時間：約15分）

販売場所：市内46箇所

令和6年度の実績：

項目	客数	売上金額	客単価
年間合計	8,914人	17,994,779円	2,019円
1日平均	37人	74,667円	

【地区ごとの内訳】

（石岡地区）

項目	客数	売上金額	客単価
石岡地区（8箇所）	1,740人	3,335,370円	2,669円
関川地区（3箇所）	494人	954,121円	3,017円
高浜地区（5箇所）	1,052人	2,258,732円	2,566円
三村地区（2箇所）	350人	1,157,739円	3,694円
合 計	3,636人	7,705,962円	

（八郷地区）

項目	客数	売上金額	客単価
恋瀬地区（5箇所）	889人	2,069,468円	2,444円
小桜地区（5箇所）	792人	1,524,365円	1,926円
葦穂地区（5箇所）	858人	1,345,156円	1,985円
小幡地区（5箇所）	1,084人	2,322,362円	2,392円
林地区（3箇所）	428人	783,020円	2,631円
園部地区（2箇所）	637人	1,009,035円	2,000円
柿岡地区（2箇所）	467人	1,052,541円	2,310円
瓦会地区（1箇所）	123人	182,870円	2,660円
合 計	5,278人	10,288,817円	

(3) 事業計画

令和7年度においても、予算200万円を計上しており、市内交通不便地域における買い物支援を行うことで、公共交通の補完をしていきます。

2 石岡プラチナ応援券での乗車券購入制度の周知

- ・「乗合タクシー利用のしおり」に制度内容を掲載し、市窓口での配布や市ホームページや社会福祉協議会ホームページにて周知を実施しています。

## ◆商業・観光分野と連携した利用促進策

### 1 中心市街地の店舗とコラボしたイベントの検討

#### (1) 令和6年度 事業報告

- ・石岡駅隣接のステーションパークにて、「いしおか市場」を年3回（6月，10月，2月）開催しています。

#### (2) 令和7年度 事業実施計画

- ・令和7年度においても、商業分野と連携したイベントを実施し、公共交通の利用促進を図っていきます。

### 2 観光巡回車“石岡・やさと観光周遊バス”等の周知・案内

#### ○石岡・やさと周遊バスについて

##### (1) 概要

石岡駅から市内観光スポットを結ぶ路線バスを運行。

事業者：石岡市観光協会

運行会社：関東鉄道（株）

運行日：土日、祝日（臨時運行を除く）

運行本数：11便/日（往復）



周遊バスチラシ

##### (2) 周遊バス利用者数

区分	R4	R5	R6
乗車人員 合計	3,959人	5,421人	6,295人
1便あたりの平均	4.7人	6.0人	7.2人

##### (3) 主な降車場所及び降車人数

観光施設名	R4	R5	R6
常陸風土記の丘	232人	176人	216人
いばらきフラワーパーク	1,013人	1,418人	1,261人
八郷蒸溜所	232人	387人	518人
やさと温泉ゆりの郷	157人	177人	242人
十三塚果樹団地	41人	65人	78人



写真 いばらきフラワーパーク

##### (4) 令和7年度事業計画

- ・令和7年度においても、観光周遊バスの運行を継続実施し、石岡市観光協会のホームページ等に情報を掲載することで、周知・案内を図っていきます。

### 3 観光イベント時の公共交通の利用促進

#### ○石岡ふれあいまつり

##### (1) 概要

地域経済の活性化と魅力あるまちづくりを目的に春と秋に2回開催しており、多数の飲食ブースやイベントが行われます。また、当日については会場までの無料シャトルバスを運行しています。春については、チラシにカシエつバス無料券を添付し、公共交通の利用促進を行っております。

##### (2) 令和6年度事業報告

令和6年5月26日(日)に春のふれあいまつりを実施し、無料シャトルバスの運行、カシエつバス無料券の配布を行い、公共交通機関の利用促進を図りました。

また、令和6年11月17日(日)に秋のふれあいまつりを実施し、無料シャトルバスを運行し、利用促進を図りました。

##### (2) 令和7年度事業計画

5月25日(日)に春のふれあいまつりが開催され、無料シャトルバスの運行、カシエつバス無料券の配布を継続して実施しております。

秋のふれあいまつりにおいても無料シャトルバスの運行を予定しております。



令和7年度石岡ふれあいまつり春 チラシ

### 3-2 広域連携の推進について

- ◆市外病院への通院ニーズに対応するための近隣自治体との協議
  - 現時点で公共交通利用による市外病院への通院要望は少数であることから、引き続き利用状況を注視していきます。
- ◆観光産業を支える公共交通の利用促進
  - 茨城空港などを活用し、広域連携による市内の観光資源をつなぐ、既存公共交通や新たなサービスによる観光周遊ルートの確立に向け、関係部局と協議を進めていきます。

### 3-3 新たな交通技術・サービスの導入検討について

- ◆新たな交通技術・サービスに関する情報収集、導入可能性の検討
  - 自動運転バスやライドシェアサービスなど新たな交通技術やサービスが登場しており、他自治体での取り組み等を注視しながら、引き続き導入の可能性について調査研究を進めていきます。